

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

外部評価の結果

調評	
<p>全体を通して(特に良いと思われる点など)</p> <p>手作りの10本のボーリングピンに向って輪投げの真最中。利用者者と職員が入り乱れての熱戦である。一投一投に皆んなの力が入る。今日は一週間振りのチャンピオン決定の日。毎週輪投げの1.2.3位が決まる。皆んなの意欲を引き出している。今日の優勝者と入賞者へ皆んなで拍手。午後利用者者と職員で作った成績表が貼り出され、嬉しそうな顔。次は文字カードで「しりとりゲーム」が始まる。次から次へと動物を探す。すぐ見つける人に「一寸ゆっくりしてネ」と頼んで、他のゆっくり考える人にも譲る。毎日ゲームを楽しみながら、字や数字、暗算の頭のリハビリと競争心を養っているようだ。</p> <p>「ご飯ですから、皆んなトイレに行きましょう」とこの時は堂々とした呼びかけである。皆んな各々の部屋に帰っていく。自分で出来ない人は職員が手助けする。この様子、全然違和感がない。昼食の前、全員がテーブルにつく。これからが驚く光景である。歩ける人も、車椅子の人も、自分でキッチンカウンターに自分の配膳を取りに行きテーブルまで運ぶ。そして全員がテーブルに揃うまで待って「いただきます」と食べ始める。職員と一緒に賑やかに食べる。又、自分でキッチンカウンターまで運び返却である。何でも自分ですという気持を養うこと、バランス感覚を保持することが毎日のリハビリだそうだ。お客さんではなく家族の一員として、一人ひとりが出来る役割を果たしている。すばらしい一言。</p>	
<p>特に改善の余地があると思われる点 次のような提案をした</p> <p>代表者・管理者・職員が一丸となって、利用者の生活を支えている様子は素晴らしいが、家族会がしっかりと活用して、家族の力をもっとグループホームの運営、ケアに利用させて貰えないだろうか。</p> <p>家族や地域の人々にグループホームにもっと出入りして貰える方法を考えて、大きな交流の場を作って貰いたい。今始まったデイサービスは、この地域の小規模多機能のサービス展開の拠点になって欲しい。</p> <p>デイサービスとグループホームのニュースレター第1号を是非続けて貰い、家族や地域との情報交換のきっかけとして、家族も遠慮なくグループホームに意見が述べられるような環境づくりをして貰いたい。</p>	

事業所名 グループホーム 明日香

日付 平成17年2月4日

特定非営利活動法人

評価機関名 高齢者と痴呆の人のケアを大切にす会

LIFE SUPPORT推進グループ

評価調査員 在宅介護経験10年

評価調査員 老人保健施設介護実務経験及び

介護支援専門員8年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

Ⅰ 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か</p> <p>家庭的な環境の中で、自立支援、小規模ケア、個性の尊重を目指している。更に利用者の笑顔を模索している様子。職員は利用者一人ひとりを大切に思い、笑顔を求めて真剣に取り組んでいる気持ちが伝わってきます。</p> <p>今、この人には寄り添うことが必要と感じられる時には1対1のケアがなされている。</p>		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か</p> <p>リビングが利用者の生活の場所の中心となっている。テーブル、椅子の位置が、リビングでの活動の種類と食事の時によって移り変わっていく。利用者の位置もフレキシブルである。自由と気まますが発揮した生活が見られる。</p> <p>玄関は出入りが自由で、好きな時に散歩に行っている。見守りがきちんと出来ている。</p>		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

Ⅲ ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か</p> <p>今までの経験を生かし、食事の下準備、カラオケ、水彩画、短歌等、一人ひとりが得意な事を中心に、その人の力を発揮して貰うようにしている。又、全体でゲームをしたり、カード遊びをして字を思い浮かべたり、競争心をかきたて、持てる能力を引き出そうとしている。</p> <p>トイレは自室に有り、入浴も一人ずつ入り、日常は一人ひとりのプライバシーに十分配慮している。職員が入室の際必ず挨拶をして利用者の了解の返事を得ている。</p>		

Ⅳ 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。</p> <p>開設1年余りですが、利用者の笑顔を引き出して、安心して暮らせるように職員8名と代表者も加わり9名体制で、より良いケアを目指して取り組んでいる。外部評価や日赤の介護講座も利用、様々な意見を積極的に取り入れ、今後に生かしたいと意欲に燃えている。</p> <p>これからの課題ですが、「家族会」と「デイサービスあすか」とを拠点として高齢者ケアのリーダーとして、この地域に根付く活動を期待している。</p>		